

令和8年1月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	29,781	301,028	301,500	301,950	△ 472	△ 922
2 調定水量	m ³	592,131	5,998,502	6,035,200	6,146,085	△ 36,698	△ 147,583
3 調定料金(税抜)	円	182,280,269	1,845,983,157	1,851,000,000	1,875,005,435	△ 5,016,843	△ 29,022,278
4 口振加入件数	件	24,276	245,705	-	247,225	-	△ 1,520

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,403	194,379	194,560	192,818	△ 181	1,561
6 調定水量	m ³	389,412	3,830,518	3,855,730	3,866,717	△ 25,212	△ 36,199
7 調定料金(税抜)	円	81,321,732	802,256,153	814,510,000	754,612,733	△ 12,253,847	47,643,420

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	71,145	-	72,532	△ 1,387
9 給水件数	件	29,649	-	29,800	△ 151
10 開栓処理件数	件	134	1,989	2,142	△ 153
11 閉栓処理件数	件	161	2,246	2,335	△ 89
12 給水工事設計審査	件	14	307	318	△ 11
13 給水工事竣工検査	件	40	373	472	△ 99
14 経年メーター交換	件	425	4,261	4,405	△ 144
15 メーター口径変更	件	1	33	27	6
16 督促状発送数	件	1,376	14,214	14,148	66
17 月末停止件数	件	140	-	120	20

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	9	191	214	△ 23
19 排水設備工事完了検査	件	24	179	223	△ 44

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
20 当年度分	211,666,823円	89.58%	216,091,689円	89.52%	0.06%
21 過年度分	2,971,218円	98.50%	2,927,162円	98.57%	△0.07%
22 計	214,638,041円	-	219,018,851円	-	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
23 当年度分	109,816,989円	87.56%	111,009,171円	86.63%	0.93%
24 過年度分	816,314円	99.20%	669,043円	99.28%	△0.08%
25 計	110,633,303円	-	111,678,214円	-	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項 目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率	B-D
26 当年度分	1,360,030円	92.90%	1,431,100円	95.23%	△2.33%
27 過年度分	1,111,700円	18.06%	1,106,400円	21.76%	△3.70%
28 計	2,471,730円	-	2,537,500円	-	-

特 記 事 項

1. 1月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

【水道事業】

ア 収益的収支

当期の給水収益は200,508千円(税込)で、前月期に比べて5,942千円の増、対前年同月比では3,343千円の減となっています。営業収益は200,838千円、営業外収益は事務手数料や預金利息など6,091千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など97,578千円、営業外費用は企業債利息1,717円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、補償金や加入金として1,844千円の執行となりました。支出は、建設改良費として機器整備費や事務費など167,015千円、企業債償還金として3,080千円を執行しました。

【下水道事業】

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は89,390千円(税込)で、前月期に比べて3,527千円の増、対前年同月比では809千円の減となっています。営業収益は127,994千円、営業外収益は他会計補助金や預金利息110,875千円となりました。

当期の営業費用は委託料や動力費など89,998千円、営業外費用は企業債利息として3,637千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、建設事業債や他会計出資金として311,622千円となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や事務費など5,582千円、企業債償還金として328,189千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 1月招集議会の開催

1月15日(木)に令和8年登米市議会定例会1月招集議会が開催され、水道事業会計補正予算(第2号)を上程しました。今回の補正については、物価高騰が継続している中、市民生活への影響を軽減するため、官公庁以外の水道利用者に対し、令和8年6月から8月分請求分までの3か月分の水道料金の基本料金を免除を行うため、予算及び債務負担行為1件について計上したものです。この補正予算については、原案のとおり可決されました。

(2) 水道週間作品コンテスト表彰式を開催

1月21日(水)に登米市役所登米庁舎で第67回水道週間作品コンテスト受賞者表彰式を開催しました。コンテストには市内小中学生などから207点の応募があり、審査の結果26名が入賞し、熊谷市長から一人ひとりに表彰状と記念品が授与されました。

また、入賞作品から日本水道新聞社主催の第67回水道週間協賛懸賞に出品したところ、作文の部と図画の部において2名が入選しました。



【市長から表彰状と記念品を贈呈】



【入選作品(作文)の朗読】



【受賞者全員での記念撮影】

令和8年1月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	809,760	8,207,444	7,921,120	8,301,250	286,324	△ 93,806
総配水量	750,726	7,617,259	7,368,490	7,719,453	248,769	△ 102,194
1 有効水量	639,439	6,405,839	6,405,230	6,564,047	609	△ 158,208
(1) 有収水量	596,568	6,043,054	6,080,200	6,190,517	△ 37,146	△ 147,463
(2) 無収水量	42,871	362,785	325,030	373,530	37,755	△ 10,745
2 無効水量	111,287	1,211,420	963,260	1,155,406	248,160	56,014
(1) 漏水量	110,868	1,207,094	957,000	1,151,533	250,094	55,561
(2) その他無効水量	419	4,326	6,260	3,873	△ 1,934	453
3 有収率	79.47%	79.33%	82.52%	80.19%	△ 3.18%	△ 0.86%

※ 当月期の最大配水量は、1月27日(火)に記録した【25,604m】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
浄水施設整備事業	5	2,296,088	6	2,255,203	0	12,448	28,437	98.8%
配給水施設整備事業	37	1,215,167	29	614,576	7	92,768	507,823	58.2%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計です。

特記事項

1 水道水質検査共同化に関する合意書の締結

1月30日(金)に、気仙沼市、栗原市、南三陸町及び本市の4市町において、水道水質検査共同化に関する合意書を締結しました。これは、水道法に基づく水質検査業務について、適切かつ持続的に実施しながら住民に対して安全で安心な水道水を将来にわたって安定して供給するため、4市町が連携して水道水質検査を実施することを目指し協議を行うことを目的とするものです。水質検査に関しては、専門的な知識・経験が必要とする業務であることから、中小事業体においては人員の確保を含めた検査体制の整備・維持が困難なこと、検査機器の更新・修繕に多額の費用を要することなど多くの課題を抱えていたことから、水質検査共同化の可能性について令和5年度から事務レベルでの調整を重ね、今回の合意書の締結に至ったものです。

今回の合意書においては、実務的な協議を開始することや当該協議において生じる費用の負担割合について定めており、今後は令和9年度中の水質検査共同化の実施に向けて、より具体的な内容を協議していきます。

2 保呂羽浄水場沈殿池散水ポンプ設置



【散水ポンプ稼働状況】

1月22日(木)に保呂羽浄水場沈殿池散水ポンプ設置作業を実施しました。これは、気温の低下により沈殿池表面が凍結すると汚泥をかき寄せる機械が稼働できなくなることから、沈殿池表面に水の流れをつくり、凍結を防止するためのものです。

ここ数年は沈殿池が凍結することがありませんでしたが、1月9日に米山で-9.7℃を観測し、最低気温が全日マイナス、平均気温も31日のうち21日(前年は12日)でマイナスを記録するなど、気温の低い日が継続したため、ポンプを設置することとしました。

◎ 漏水調査結果(累計)

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
配水管	62	106.860	
付属施設	0	0.000	
給水装置	106	84.900	
計	168	191.760	

【漏水調査結果：1月】

○ 推定漏水量 16.260m³/h

○ 推定効果額 約3,804千円

○ 推定効果額算定

・ R6年度給水原価 314.48円

・ 12月推定漏水量 16.260m³/h

・ 16.260m³/h×24h×31日×314.48円

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	51,893	522,162	529,283	△7,121	3処理場
米谷・錦織処理区	9,830	101,436	112,706	△11,270	
豊里処理区	30,735	299,973	302,571	△2,598	
津山処理区	11,328	120,753	114,006	6,747	
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,668	113,839	118,877	△5,038	
農業集落排水	96,190	1,083,635	1,099,522	△15,887	24処理場
迫地区	7,351	81,328	82,328	△1,000	
東和地区	2,621	26,414	27,703	△1,290	
中田地区	28,407	307,690	316,412	△8,722	
豊里地区	1,816	19,267	19,571	△304	
米山地区	37,627	453,518	462,543	△9,025	
南方地区	18,368	195,418	190,965	4,453	R7.4.1時点
浄化槽(特・個排)	45,467	446,694	443,940	2,754	2,204基
合計	432,817	4,552,746	4,664,970	△112,224	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	8	614,163	5	439,142	0	11,144	163,877	73.3%
処理施設整備事業	90	705,767	33	394,332	28	68,750	242,685	65.6%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む。）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

※ポンプ施設整備事業については、令和7年度の予算計上が無いので状況報告から除く。

特記事項

1 迫町大東地区舗装復旧工事を発注

1月期に迫町大東地区舗装復旧工事を発注を行いました。この工事は、過年度に雨水排水路を整備し、仮復旧の状態となっていた道路舗装の本復旧(施工面積=4,406m²[うち車道3,612m²、歩道794m²])を行うものです。この工事をもって迫町大東公園周辺の浸水被害の解消を目的とし、平成30年度から整備を進めてきた雨水排水路整備事業は完了となります。今後は整備した施設の機能を損なうことが無いよう、適切な維持管理を行ってまいります。



【攪拌ポンプ引上げ状況】

2 汚水処理施設故障に係る修繕を実施

1月期に佐沼環境浄化センターにおいて、巡回点検時に脱水機汚泥サービスタンク内が攪拌されていないことを確認し、攪拌ポンプの引き上げ点検をしたところ、羽根車の脱落を確認しました。これは、し査混入による摩耗が原因で発生したもので、同型水中ポンプと交換作業を実施し処置を完了しております。今後も下水道施設の修理や改修を実施し安全・安心を確保するよう、適切な維持管理を行ってまいります。

○浄化槽整備事業受付状況

(1月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	53	-

※令和7年度の申請受付は、11月末で終了しました。